

尾道市立西藤小学校

〒729-0142 尾道市西藤町 1500 番地
電話 0848-47-2274

西藤小学校では、「自立的・協働的な学びの推進」に取り組んでいます。必然性のある学習課題を設定し、解決に向けた学びを自立的・協働的に行うことで児童の問題解決力を培います。

総合的な学習の時間

第 5 学年

目指す資質・能力 【チャレンジ力】【問題解決力】【協働力】【表現力】

「米米調査隊」

【単元の概要】

社会科との教科横断的な学習として、地域の米作りの課題を解決するための取組について調べ、地域の方と意見交流する学習を設定する。まず農家や JA の方に聞き取りを行い、地域の米作りの現状を調べる。その中で地域の米作りが直面する課題について知り、それらを解決するために自分たちができることを調べ、交流会で発信する。学習を通して問題解決力や表現力を育てると共に、地域の一員として自分たちの地域を守り、発展させようとする態度を育てる。

◆単元の目標

- ・地域の米作りに関わる課題を解決するためにできることを調べ、実践することを通して、郷土西藤への愛着を深め、積極的に地域に参画しようとする意欲を高める。
- ・米作りの現状や課題を調べるために、情報機器を活用したり聞き取りをしたりして調べる。
- ・目的と相手を意識して、発表の内容や方法を考え、表現方法を工夫する。

◆単元の計画（全 2 2 時間）

学習過程	指導のポイント■ 各教科等との関連【】
【課題の設定（1時間）】 ・昔と現在の西藤の様子を比べ、現在では、どのように米作りが行われているかを調べる計画を立てる。	■ 昔と現在の西藤の様子が分かる写真を提示し、学習への興味付けを行う。
【情報の収集（4時間）】 ・地域の農家を訪問し、取材する。 ・JAの方の話を聞き、取材する。	■ ゲストティーチャーと事前打ち合わせを行い、伝えていただきたいことを明確にしておく。
【課題の設定(2)】 ・調べたことをもとに、地域の米作りで直面している課題について話し合う。 ・直面している課題を解決するために自分たちができることを調べ、それらを発信する計画を立てる。	■ 話し合う中で、米若者の米離れや後継者不足、水田の放棄など、地域が抱えている問題に目を向けさせる。 【社会科】 「米づくりのさかんな地域」の学習と関連させ、米作りで直面している課題を押さえる。
【情報の収集(6)】 ・情報機器や図書資料、聞き取りをして情報を集める。	■ 1単位時間ごとに各自の進み具合を確認し、必要に応じてアドバイスや支援をする。
【整理・分析、まとめ（2時間）】 ・集めた情報をもとに、新しい米作りの特徴や地域の人々の関わりについて整理する。	■ 農家の米作りを支えるために、新しい米作りや地域の環境を保全する取り組みなど、地域が一体となって取り組んでいることを押さえる。
【創造・表現（4時間）】 ・グループで、どのような内容をどのように伝えるかを話し合う。 ・話し合ったことをもとに、発表原稿やフリップなどを作成し、練習する。	■ 「米作りの課題を解決するために地域や保護者の方に関心をもってもらう」という目的を意識させ、米作りに携わる方々の努力や願いが反映できるように発表の内容や方法を考えさせる。
【実行（2時間）】 ・地域の方や保護者の方を招いて発表会を開き、地域の方の意見を聞く。 ・地域に伝わる編み笠音頭に込められた願いを知る。	■ 地域の方の意見を聞き、自分たちの学びを評価すると共に、さらに地域に伝わる編み笠音頭や食文化にも視点を広げさせる。
【振り返り（1時間）】 ・学習を振り返り、これからの自分のあり方を考える。	■ 自己評価・相互評価させ、地域の米づくりに関わる取組や文化を守り、受け継ごうとする意欲を高め、今後の自分のあり方につなげる。